一般質問（要旨）

凛と涼しげに
（下の川）

無会派　昭島市におけるポイ捨てゴミ問題について

なかお フミヒト 議員

質問　ポイ捨てごみ問題について、①ポイ捨てごみは環境や社会にとってとても深刻な問題である。具体的な対策は。②IoTを活用し、ごみの収集・管理を効率化するスマートごみ箱を導入しては。③地域が一体となって一斉に活動することが効果的だが、市内クリーン運動の内容は。

答弁　①路面シートや啓発看板等を設置するとともに、街なみクリーンアクション実行委員会による環境美化活動等を通じ、積極的な啓発活動に取り組んでいる。②ごみの不法投棄を助長するなどの課題も多く、設置する考えはない。③市内関係団体に公共の場所を一斉に清掃してもらう取り組みである。今後も地域が一体となり、ポイ捨て禁止等を呼びかける啓発活動を強化していく。

質問　Aバス停留所の標識や椅子について、①停留所の標識を令和6年度に改修しなかった理由は。②簡易的なベンチや腰掛け防護柵の設置を早急に検討し、できるところから進めてほしい。考えは。

答弁　①バス車両の故障が多数発生し、修理費を多く要したことから、改修費用の捻出が困難となった。②ベンチの設置により、通行の障害になることが懸念されるなど課題がある。今後、設置可能な場所の選定など、周辺状況を鑑みながら検証していく。

質問　昭和公園陸上競技場を公式大会でも使用できる競技場として整備する考えは。

答弁　付帯設備の設置などの課題を踏まえ、市域のスポーツ施設の再編を検討する中で、その在り方について総合的に検討していく。

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団　昭島市の地域特産品を守る

ひえの たかゆき 議員

質問　特産品生産施設における害獣対策について、令和7年度にねずみ駆除事業が実施されるが、一時的な駆除では同様の被害が繰り返されるおそれがある。発生源施設における構造的・恒久的な対策について、今後の対応は。

答弁　7年度より鳥獣対策係を設置し、対策に努めている。害獣対策は地域住民との連携を図り取り組んでいくべき課題であり、都や関係機関とも連携し、効果的な対策を検討していく。

質問　発達障害に関する取り組みについて、当事者が主体となって悩みなどを語り合う「自助会フェスタ」を開催するなど、市民への更なる啓発を行う考えは。

答弁　発達障害に関する正しい理解促進のため、当事者主体のイベントとの連携も視野に入れ、引き続き関係部署と協議・検討していく。

質問　特別支援学級の判定基準に届かない、いわゆるグレーゾーンの児童への支援について、①現在の支援体制は。②今後の考えは。

答弁　①学習支援員や特別支援教育支援員など様々な支援員を配置し、学校生活支援シートによる意識の共有やきめ細かな支援の充実に努めている。②児童・生徒の発達段階を踏まえ、個別最適な学びの充実に努めていく。

質問　青少年の全国大会遠征支援策について、交通費や宿泊費の負担を軽減する支援策を導入し、子どもたちが努力の成果を十分に発揮できるよう、環境を整備する考えは。

答弁　助成等の支援については様々な課題があり、今後、他自治体の状況等を調査・研究していく。

日本共産党昭島市議団　民主主義に基づくまちづくりを進める施策を

おおの ふびと 議員

質問　GLP昭島プロジェクトについて、施設の運営開始後に住民・市・事業者の協議体を設置するとのことだが、運営開始前も市民の命と暮らし、自然環境を守るため、事業者と協議を継続する考えは。

答弁　市としても市民の心配を払拭できるよう、施設の運営開始前であっても法令の範囲内で協議を継続していく。

質問　他自治体では、現行の国民健康保険証の有効期限が切れる方へ、マイナ保険証保有の有無にかかわらず、資格確認書を一斉に送付することとした。業務の効率化を考え、市でも一律に送付すべきでは。

答弁　国でも様々な議論が行われ多様な広がりを持つ国民健康保険で、最も効率的で良好な方法を見出すのは困難である。市では資格確認書又は資格情報のお知らせを送付する準備を進めている。今後の国の動向にも注視し、制度移行が円滑に行われ安心して医療が受けられるよう、努めていく。

質問　音響式信号機の設置促進のため、バリアフリー基本構想の策定を提言した際、他自治体の取り組み事例を調査・研究するとのことであったが、進捗状況は。

答弁　他自治体の取り組み状況や国からの情報の収集に努めており、将来的な策定につなげていけるように検討していく。

質問　災害関連死対策として、避難所に指定された公立小中学校の体育館断熱化を急ぐよう求めてきたが、状況は。

答弁　確固たる財源の確保を念頭に、他の工事と併せて断熱化工事を実施するなど、効果的で効率的な取り組みが可能となるよう、庁内関係部署とも連携し、検討を進めていく。

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団　子育て環境の改善について

ゆざ まさ子 議員

質問　学童保育について、①現在も待機児童が発生しているが対応は。②待機児童対策として、空きのあるクラブへの送迎支援を検討したとのことだが、今後の方針は。③受け入れ対象を6年生まで拡充する考えは。

答弁　①待機児童の多い学校内にマッチングステーションを開設するとともに、定員数の弾力化により解消に努めている。②送迎車の乗車人数等に課題があり実施には至らなかったが、引き続き検討していく。③待機児童の発生のほか、支援員の確保など定員の増加には課題がある。まずは待機児童の解消に努めていく。

質問　教育現場の課題について、①物価の動向等を踏まえ、就学援助の収入基準を見直す考えは。②修学旅行費等の高騰も鑑み、補助金の増額を検討しては。

答弁　①現時点で基準緩和は考えていないが、必要に応じ検討していく。②国等の動向を注視し、保護者負担の在り方を見極めていく。

質問　令和19年度までに校舎の空調を個別空調に移行するとのことだが、前倒しできないのか。また、空調の効率化のための断熱整備について今後の方針は。

答弁　個別空調へ順次切り替えを進めており、引き続き計画的に更新していく。断熱整備は校舎の更新等の際に、検討を進めていく。

質問　富士山噴火時の対策について、①水道水に火山灰が混入するなどのリスクは。②市民への周知や防災訓練を実施する考えは。

答弁　①水源から蛇口までほぼ外気に接しないため、火山灰は混入しないと認識している。②防災ガイドブック等で周知している。防災訓練は検討課題としたい。

1面下段より

購入費補助事業について、補助対象の件数が750世帯とのことだが、それ以上の申請があった場合の対応は。

答弁　地域の安全という観点からも、今後の申請状況も踏まえながら、対応を検討していきたい。

質問　拝島町高齢者福祉センターに音楽活動室が新設されるが、①利用時間帯はどのように設定するのか。②場所や財源の確保が前提となるが、今後、東部地域で高齢者がカラオケをできる場所の確保について、考えは。

答弁　①松原町高齢者福祉センターと同様に、午前9時から12時までと午後1時から4時30分までの2枠を設定する予定である。②朝日町高齢者福祉センターでは設備の設置が難しく、代わりに民間のカラオケ店の1室を借り上げて対応したい。今後は、今回実施する事業の利用状況等も踏まえ、どのような対応が可能か検討していく。

質問　都の補助金を活用した水道料金の減免について、都は補助対象を家庭用に限定しているが、昭島市では事業所も含めて予算計上しているのか。

答弁　事業所の減免分を含め、計上している。

みらいネットワーク

質問　保育サービス推進事業補助金について、非認知能力の育成を目指した事業のため、就学時で途絶えさせずに幼保小の連携が重要である。取り組み状況は。

答弁　アプローチカリキュラムを検討しており、今後も各保育園・幼稚園が小学校と連携して進められるように協議していきたい。

質問　都の補助金を活用した水道料金の減免について、これまでも市として水道料金・下水道使用料を減免してきたが、今回に限らず、減免を継続する考えは。

答弁　市民の期待も大きいことから、国や都の施策を注視し、財源を精査する中で、水道料金の減免を含めた物価高騰対策を総合的に検討していきたい。

無会派

質問　拝島町高齢者福祉センターにカラオケ活動のための防音室が設置されるとのことだが、どのくらいの広さを予定しているのか。

答弁　約24平方メートルの防音ユニットの設置を予定している。

質問　安全・安心まちづくり推進事業費における会計年度任用職員の報酬は約53万円と少額だが、内容は。

答弁　家庭用防犯カメラ等購入費補助事業の業務について、週3日で4か月間の雇用を予定している。

質問　都の補助金を活用した水道料金の減免を実施するとのことだが、補助期間後の今後の展開は。

答弁　市民の期待も大きいことから、国や都の施策など財源を精査する中で、総合的に考えていく。